

東北の 多文化社会を 生きる

— 現場と研究の
架橋に向けて

日時

2016.

12/17_土

13:00 ~ 17:30

入場無料・参加申込不要

会場

東北大学川内南キャンパス
文学部第2講義室

(アクセス：地下鉄東西線／国際セン
ター駅より徒歩約10分)

お問合せ 東北大学大学院 文学研究科

東北文化研究室
<https://www.sal.tohoku.ac.jp/tohokubunka/>
文化人類学研究室
TEL：022-795-6042

こ こ数年、東北地方でも「多文化社会」や「多文化共生」という言葉をよく耳にするようになったが、その実情についてはどれくらい理解が進んでいるだろうか。本シンポジウムでは、まず第Ⅰ部で東北地方における多文化社会の現状を日本の文脈の中で把握し、かつ諸外国との比較によってその特徴と問題点を検討する。第Ⅱ部では、外国人支援や多文化共生の活動と研究に取り組んでいるスピーカーの報告をもとに、コメンテーターとフロアを巻き込んだ議論を展開することで、東北ならではの課題と可能性を考えたい。

プログラム

総合司会：木村敏明（東北大学大学院 文学研究科 教授）

第Ⅰ部：多文化社会とは

- 川口幸大（東北大学大学院 文学研究科 准教授）「多文化社会、東北の現状」
- 永吉希久子（東北大学大学院 文学研究科 准教授）「多文化社会をめぐる困難—国際比較の視点から」

第Ⅱ部：多文化社会の現場と研究

- 大村昌枝（宮城県国際化協会（MIA））・一條玲香（東北大学大学院 教育学研究科 博士課程）「激変する多文化社会の現状と課題—現場からの報告」
- 栗田陽子（東北大学大学院 文学研究科 修士課程）「東北で働くブータン人技能実習生」
- 李善姫（東北大学 東北アジア研究センター 専門研究員）「移住女性の目線から問う「東北の多文化共生」」

コメンテーター：永井彰（東北大学大学院 文学研究科 教授）
二階堂裕子（ノートルダム清心女子大学 文学部 准教授）

◎懇親会

18:00 ~ 20:00